## カリキュラム

## コースコード・24-133

タイトル実践		夫践じる	践で学ぶ!部下指導の考え方・進め方 					
サブタイトル		やる気と能力を引き出す指導法						
研修のねらい		働き方の多様化に加え、若手社員の主体性やコミュニケーション能力の不足が指摘されている中、管理者には、部下を理解しコミュニケーションを十分に図りながら、適切な手法で指導していくことが求められています。 本研修では、部下指導の基本的な考え方を学んだ上で、現場で活用できる手法と計画的な部下育成の取り組み方について、演習を交えて学びます。また、インターバルを活用して、実際に自社の職場で部下指導の実践に取り組みます。						
研修の	D特徴	<ul><li>現場で活きる</li></ul>	基本となるコミュニケーションやリータ 5実践的な部下指導力が身につき 0組むインターバル課題がより深い	ます。				
			<b>定員/最大定員</b> 20			 ) 名		
対象者		管理者、新任管理者			研修胡思 / 叶胆粉	2024年10月10日(木)~11日(金)、11月12日(火)~13日(水		
		・現場で活きる部下指導の手法を身につけたい方 ・現在、部下指導に携わっている方(インターバル期間中に携わる予定の方も含む)			研修期間/時間数	4日	26 時間	
					会場	中小企業大学校	交瀬戸校 大教室	
					受講料	36,0	00 円	
	p.d.	:88	TUE:	科目構			2# AT	
日付		<b>間</b> ~9時40分	科目 開講式・オリエンテーション		内容		講師	
10/10 (木)	9時40分~12時40分 (3H)		部下指導の考え方と進め方	部下がパフォーマンスを最大限発揮できるようにするために、上司として部下指導に臨む際の考え方や姿勢、具体的な指導の進め方について、事例を交えて学びます。 ・部下指導における上司・リーダーの心構え・伸び続ける組織・チームにするためのポイント・メンバーを育成するために必要なこと  効果的な部下指導を行っため、ティーナング等の考え方や取り組み方を字びま				
	13時40分~17時40分 (4H)		部下指導の実践的な手法 (演習)	す。     ・リーダーシップを効果的に高めるコミュニケーション     ・やる気を引き出す接し方と実践方法     ・自己分析演習			株式会社フェアウィンド 代表取締役 中小企業診断士 ITコーディネータ	
	18時10分~19時10分		受講者交流会			中井 嘉樹		
10/11 (金)	9時00分~16時00分 (6H)		部下指導の計画的な 取り組み方(演習)	部下指導を計画的に取り組む際のポイントと計画の立て方を学び、自身の職場を想定した「部下育成プラン」の作成に取り組みます。 ・計画的な部下指導の取り組み方 ・「部下育成プラン」の作成				
	・「職場での部 F成した「部下育			『下指導に取り組み	゚゚゚゚゚゚゚゚ます。			
11/12 (火)	9時30分~12時30分 (3H)		現場実践の振り返り		ξ践結果を振り返り、課題の整 振り返り(ディスカッション) 整理	D整理を行います。		
	13時30分~17時30分 (4H)			インターバルでの実践結果の振り返りを踏まえて、「考え方」や「計画」の見言を行い、ブラッシュアップを図ります。 ・コーチングの考え方と実践法 ・周囲の協力を得て取り組む部下指導 ・上司自身のメンタルマネジメント ・「部下育成プラン」の改良		て、「考え方」や「計画」の見直し	が ける 中井 嘉樹	
11/13 (水)	9時00分~16時00分 (6H)		部下指導のブラッシュアップ					
	16時10分	~16時20分	閉講式	1			l	
雙師	氏名				 略歴			

中井 嘉樹 (なかい よしき) 株式会社フェアウィンド 代表取締役 1959年生まれ。同志社大学卒業後、㈱内田洋行、㈱キーエンスを経て、㈱日本ブレーンセンター(現 エン・ジャパン㈱)にてチーフコンサルタント・取締役を務めた後、現職。専門分野は、経営戦略、リーダー・管理者育成、営業力・販売力強化などの戦略的な組織力・人材力強化を中心としたコンサルティング。豊富な現場実績と体系的な理論に基づいた実践的な指導で定評を得る。経済産業大臣認定中小企業診断士、経済産業大臣推奨 I Tコーディネータ。著書「自分で売るな!部下に売らせろ!」(PHP研究所)、「チーム力を高める魔法の力」(経営書院)、「はじめての部下指導の心得」(経営書院)、「会社を変える!40歳の仕事力」(共著 PHP研究所)、「はじめてのOJTリーダーの心得」(経営書院)、「新入社員基礎講座」(共著 経営書院)、「顧客満足〈CS〉の心得」(共著 経営書院)。